

## 農地整備事業地区の概要

- 事業名：農業競争力強化農地整備事業
- 地区名：中名生・下名生地区
- 受益面積：A=86.8ha
- 総事業費：1,860百万円
- 工期：H29～R8
- 関係市町村：柴田町
- 土地改良区：柴田町土地改良区
- 導入作物予定：水稲、大豆、ねぎ等
- 地区の特徴・PRポイント
  - ・高収益作物として、たまねぎと裏作にブロッコリー等の二毛作に取り組んでいる。
  - ・ドローンによる農薬散布・追肥、直進キープ田植機等の導入によりスマート農業に取り組んでいる。
  - ・水稲の直播栽培により省力化を図っている。

## 県内位置図

- 位置 しばたぐんしばたまち  
宮城県柴田郡柴田町

宮城県位置図

なかのみよう・しものみよう  
中名生・下名生地区



## 作付け計画・実績

### 【作付け計画(促進計画)】

- ねぎ A=2.0ha
- 馬鈴薯 A=0.8ha
- きゅうり等 A=1.4ha

### 【作付け実績(R7)】

- たまねぎ A=0.6ha
- ブロッコリー A=0.6ha (裏作)
- かぼちゃ A=0.1ha

### 【作付け計画(R8)】

- たまねぎ A=0.7ha
- ブロッコリー A=0.6ha (裏作)
- たまねぎ A=0.1ha (裏作)

## 取り組み内容

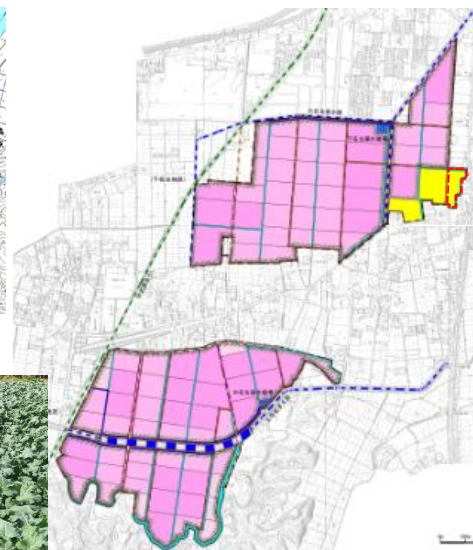
### 【取組状況】

担い手の農事組合法人桜花爛漫が高収益作物作付けに取り組んでいる。  
令和元年にJAみやぎ仙南たまねぎ部会が設立され、機械・施設を整備したことに伴い、たまねぎを試験導入し、併せて裏作にブロッコリーの作付けも開始した。

### 【今後の展開方向】

排水対策及び土づくりを行うなど単収向上を図りながら、経営安定に向け園芸作物の生産拡大を目指す。

## 地区位置図・実践エリア



—：農地整備事業地区境  
■：たまねぎ(ブロッコリー・かぼちゃ)作付けエリア

